



コミセン
便り第103号

能登島新聞

利賀村の親子が

能登島体験



南砺市の利賀地域づくり協議会と利賀地区の親子30名が、8月2日から一泊二日で能登島を訪れ、能登島ならではの体験を楽しみました。

初日は、コミュニティセンターで食文化体験として、島のテングサを使ったところん突き体験と、能登島長崎の海水を薪で沸かしてつくる塩づくり体験を行いました。

お昼ご飯には利賀の清流そうめんと島のおかあさん達お手製の能登島米おにぎり、コロツケなどをいただきました。

午後からはマリナーパークに移動して海水浴や生き物探し、海のミニ運動会など思いっきり遊んだあと、島の湯でリラックス。夜は民宿石坂荘（震災後はじめての一般営業）で、新鮮な海鮮料理を楽しみました。

2日目早朝には、希望者が船釣りに出航して100匹以上の大漁だったとのこと。その後ものこしま水族館などを満喫して帰路につきました。

利賀地域づくり協議会と能登島地域づくり協議会は今年2月に「地域連携協定」を締結し交流を進めています。本交流事業は、七尾市震災復興ゆめ基金事業として実施しました。



2025
9
月号

発行所

能登島地域づくり協議会

☎ 84-1110

今年も

のこしま夏祭りを開催



8月9日（土）、能登島コミュニティセンターにて「のこしま夏祭り」が開催されました。

縁日コーナーでは、各地区の子ども会による射的やスパーボールすくい、一円玉落とし、魚釣りなど、楽しいお店がずらりと並び、たくさんの子どもたちが笑顔いっぱい時間を過ごしていました。

「まあそい市」には、島内外から飲食店が出店してくださり、飲食ブースも大盛況。おいしい香りに誘われて、長い列ができるほどの賑わいでした。

今年特別出店として、バルーンアートの「ぶんちゃん」も出店して頂き、色とりどりのバルーンで、子どもたちにかわいい動物やキャラクターを作ってくれました。

ステージイベントでは、DJによる音楽や盆踊りに加え、「キラガール」と「能登アイランドガールズ」のパフォーマンスもあり、会場は大いに盛り上がりました。

恒例の「地区対抗盆踊り玉入れ」では、「曲」緩目「佐波・別所」向田「チーム」が決勝に進出。見事「曲」チームが優勝を飾りました！大人も子どもも力を合わせて玉を投げ入れる姿に、会場からはたくさんの方の応援の声が飛び交っていました。

そして、祭りの締めくくりは打ち上げ花火。保護者のお父さんたちが花火師になりきって、夜空に次々と美しい花火を打ち上げてくれました。

会場は歓声と拍手に包まれ、夏の思い出に残る素敵な夜となりました。



部会報告

総務部会

◆能登島みらい通信

・能登島体験

夏の回を実施しました



能登島を一年を通じて感じてもらうシリーズ企画として、春の田植えに続き、夏は田んぼの草刈り体験と火祭への参加という内容で実施しました。春の回に柴づくりの体験も行ったため、その柴を実際に燃やす現場に立ち会い、田んぼとつながった祭事を実際に体験することで、能登島で受け継がれる暮らしを垣間見る機会とすることが狙いです。

また、夏の味覚として能登島では定番のサザエのかまど炊きご飯を提供、昼食の後には海の中をのぞく体験も行いました。海も山も楽しめる夏ならではの内容。

向田の火祭では、カマヒバシの奉燈を子供たちと一緒に担当し、出発前の神事から最後まで参加しました。崎山

広場を何周もし、その後によっと手松明での点火、今年は大松明は海側に倒れ、豊漁が祈願されました。

参加した皆さんは、祭りの高揚感とともにこの壮大な行事そのものの意味もかみしめてくださったようで、口々にいい体験をした、と仰っていました。次回は秋の稲刈りとアオリイカ捌きを予定しており、また違った能登島の魅力を発信できればと考えています。

・森づくり講習会

今年度の休眠預金を活用した事業として、8月13日・14日の2日間、能登島家族旅行村Weiland隣接の向田町共有林(牧山)にて「能登島の森づくり講習会」を実施しました。参加者は、里山整備やチェーンソーの使い方などに関心のある方で市内・県内外から延べ13人が参加しました。

講師はおなじみ福井県福井市から、(一社)ふくい美山きときき隊宮田香司氏・土江直美氏に来ていただきました。講習は現場でのチェーンソー、バックホウの体験・講習、バックホウによる道づくり見学、安全管理についてなど盛りだくさんの内容でした。

チェーンソーを持つことも初めてという参加者も、宮田さんの実体験を踏まえた分かりやすい講習で楽しく使



方を学び、能登島での里山整備の活動についても興味を持っていただけました。

今年度は全3回の森づくり講習会を実施します。次回の第2回は10月2日・3日、第3回が10月27日・29日の予定です。

生活福祉部会

◆広神地区民児協と交流



かつて市町村合併前の平成3年に旧能登島町と友好町村提携宣言を交わしていた、新潟県の旧・広神村(現・魚沼市広神地区)の民生児童委員協議会(民児協)の皆さんが、震災の視察のため7月18日に能登島を訪問し、能登島地区民児協との研修会を行いました。

研修会では、能登島地区から震災当初の様子や現在の状況について、また民児協の活動についての報告を行い、広神地区民児協さんからも活動紹介を頂きました。

その後はグループに分かれて意見交換会として、能登島の民生委員さんがそれぞれの被災体験や各地区での活動内容を参加者の皆さんと共有しました。広神地区の皆さんからも熱心に質

問がされ、友好提携当時の思い出話などにも花が咲き、会は時間一杯まで盛り上がりました。

最後には広神地区で広く踊られている「広神音頭」の音楽を流して、先方の民生委員さんが踊りを披露したあと、参加者全員で会議室の周りを踊りながら和やかに解散となりました。

◆戦没者追悼法要

8月8日(金)、令和7年度能登島地区戦没者追悼法要が、コミュニティセンターで執り行われ、27名の方が参列されました。

式では、地区遺族連合会の桂会長にご挨拶に続き、七尾市遺族連合会の今田会長と地域づくり協議会の森下会長が追悼の言葉を述べられ、戦没者の御霊に黙とうを捧げました。その後、向田地区の福勝寺と長順寺のご住職を導師に迎え、読経と焼香が行われました。

戦後80年を迎え、参列者の高齢化や地震による避難などで参列者は少しずつ減ってきていますが、先の大戦で犠牲となった方々を偲び、遺族の皆さんが顔を合わせる大切な場として、これからも続けていきたいと感じました。



◆出張「コミュニティカフェ」を開催
「島のいっぴき」を開催

地域の交流の場・機会をつくるために各町会で開催している「出張コミュニティカフェ島のいっぴき」を7月31日（木）に鵜目地区で開催しました。通常はボランティアの皆さんが手作りお弁当を作って配食していますが、鵜目では毎月のよりあいの場で地区の女性を中心に調理をして食事をしています、今回も地区で調理をしていただいで実施するコミュニティカフェとなりました。

七尾市はつらつ健康講座で高血圧予防のお話の後、食事の時間になると若い世代も集まってきた、賑やかなカフェとなりました。



◆能登島こども会議 進捗報告

◆教育文化部会

今年の能登島こども会議では、「秋祭り」で地域を活性化しよう」をテーマに子どもたちが活動を進めています。1学期の最後には、地震の影響が大きく、小学校の児童もいない「半浦地区」の秋祭りを踊ろうという話でまことまりました。

ちょうど半浦地区では、夏祭りの準備で地域の方々が集まると聞き、6年生13名が協力をお願いに伺いました。

その結果、半浦地区の皆さんから協力の約束をいただきました。

2学期からは、踊りの内容や役割分担などを話し合いながら、準備を進めていく予定です。

この活動の成果は、11月9日開催の「能登島ふれあいまつり」で発表する予定です。どうぞお楽しみに！



◆島っ子クラブ 夏休み特別企画
「本気の遊び体験」開催しました

8月6日（水）、夏休み特別企画として、シンベエ号で笑顔と遊びを届けたくださっているSSKさんと一緒に、Weランドで「本気の遊び体験」を開催しました。

今回のテーマは、子どもたちの「やりたい！」をやってみること。食材や工具等を用意し、物づくりなど、自分の「やりたい」に向き合い、「できた！」という達成感を味わっていました。



方には、用意された食材を見て子ども達が自分たちでメニューを考え、調理スタート。カレーにシチュー、焼きそばや豚肉の網焼きなど、次々と料理が出来上がり、最後はビュッフェ形式でみんなで楽しくいただきました。子どもたちの笑顔と達成感があふれる、忘れられない夏の思い出となりました。

◆観光産業・コミュニティビジネス事業部

◆夏休み子どもキャンプ開催

8月5日～7日の3日間、毎年恒例の「夏休み能登島子どもキャンプ」を開催しました。県内外から集まった小学1～6年生の子どもたち20名が、能登島の自然を思いきり楽しみました。

八ヶ崎海水浴場で海水浴や生き物調査、Weランドでは竹のスプーン作り、BBQ、鵜目漁港での釣りの体験に魚さばき体験、コミセンでアクアリウム作りやシンベエ号で遊んだり、盛りだくさんのプログラムに笑顔があふれていました。

天候の影響で一部プログラムの変更もありましたが、自然の中でのびのびと過ごした時間が、子どもたちの夏の大切な思い出になったことと思います。



行政からのお知らせ

9.22
月

行政・市民くらしの相談

相談担当者：行政相談委員、人権擁護委員

日常生活の困りごと、人権相談をお受けします。予約は不要です。

場所》コミュニティセンター
集会室1

日時》9月22日(月) 10～12時



能登島の今	7月31日現在	先月比較
世帯	952	(- 1)
人口	2,230	(- 1)
男	1,056	(± 0)
女	1,175	(- 1)

年齢別人口	人数	先月比較
0～19歳	245	(- 5)
20～64歳	960	(+ 3)
65歳～	1,025	(+ 1)
計	2,230	(- 1)

能登島の現状を知ろう



お知らせ

令和7年度

わいわい 能登島 ふれあいまつり



地域のつながりを深める恒例イベント「能登島ふれあいまつり」が、今年も開催されます！

朝のウォークラリーからスタートし、飲食ブースや展示・舞台発表、健康福祉相談コーナー、子ども向け遊びコーナーなど、盛りだくさんの内容でお届けします。

さらに、防災啓発の一環として、はしご車の乗車体験も実施予定！

世代を問わず楽しめるこの機会を、ぜひご家族そろってご参加ください。

【開催日】令和7年11月9日（日）

【会場】能登島地区コミュニティセンター

【イベントスケジュール】

◆能登島ふれあいウォークラリー

午前8：30～午前9：30

※詳細・申込方法は後日、HP・SNSにてご案内します。

◆わいわい能登島ふれあいまつり

午前9：30～午後14：30



能登島地域デマンド交通プロジェクト

あいのり交通



令和4年度から実施しているデマンド交通実証実験について、今年度は能登島祖母ヶ浦線路線バスの一部の運行を停止してデマンド交通として運行する実証実験を行うこととなりました。

この期間中に駅や病院、スーパーなどに行かれる際は、ぜひ「あいのり交通」をご利用ください。

予約等の詳しい内容については、本誌9月号と一緒に配布するチラシをご覧ください。

◆運行期間 2025年

9月1日月～12月27日土

◆運行時間

9:30～16:30 (乗車最終時間)

※11:10～12:10の間は運行しません

◆対象者

能登島交通祖母ヶ浦線沿線エリアにお住いの方

※11月から南線でも実施します。

国勢調査にご協力をお願いします

日本の人口や暮らしの様子を把握するために、5年に一度「国勢調査」が実施されます。

9月から10月にかけて、調査員が各ご家庭を訪問し、調査の書類をお配りしますのでご回答をお願い致します。皆様、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【調査対象】国内に住むすべての人及び世帯 ※外国人を含む

【調査事項】世帯員や世帯に関する17項目 (男女の別、出生年月、就業状態、世帯員数等)

【回答方法】インターネット、調査票を郵送または調査員に提出

【お問合せ先】 総務課 国勢調査推進室 Tel: 53-1113

《広告》
ジンベエザメのラッピングバスが
運行しています！
ジンベエザメバスでお出かけしよう♪



能登島交通株式会社 TEL: 0767-85-2130

High performance Residence 《広告》

構造計算専門

全棟構造設計



ファーストクラスで暮らす

by 西川総合建築 Presents



【問合せ先】

にしけん社長

☎0120-911-018

七尾 西川



《広告》
お部屋、水廻りのリフォーム専門店
部屋セレブ
屋根、外壁のリフォーム専門店
みちがえる君

エッ!! 毎月9,800円で新築のような家に住めるの!?
※一日当たり320円(当社提携銀行借入時)

新築のような外壁や屋根、間接照明とキュートな内装にリフォームをして、お客さんに自慢できるお家にはませんか?
にしけん社長が責任をもってあなたの人生とお部屋を変えます!



《人生が変わるお見積もりはこちらまで》

担当：にしけん社長 ☎0120-911-018

